

東北地方 1 か月予報

(1 月 3 1 日から 2 月 2 9 日までの天候見通し)

平成 1 6 年 1 月 3 0 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

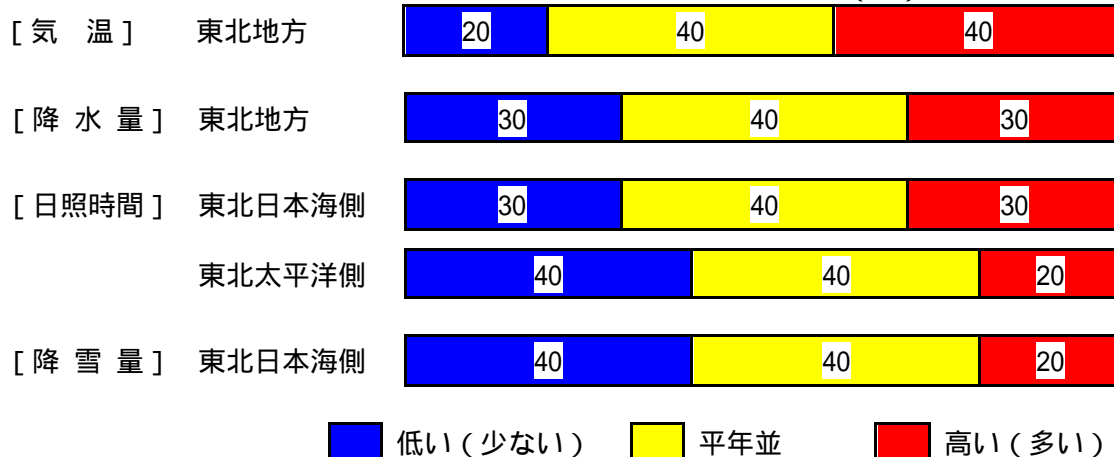
向こう 1 か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

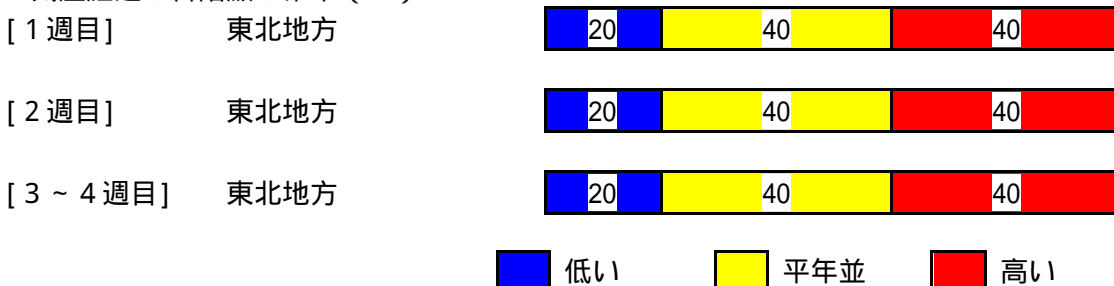
向こう 1 か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ない、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1 週目、2 週目、3 ~ 4 週目共に平年並か高い見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 月 3 1 日 (土) ~ 2 月 2 9 日 (日)
1 週目 : 1 月 3 1 日 (土) ~ 2 月 6 日 (金)
2 週目 : 2 月 7 日 (土) ~ 2 月 1 3 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 2 月 1 4 日 (土) ~ 2 月 2 7 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 2 月 6 日
3 か月予報 : 2 月 2 5 日 (水) 1 4 時 0 0 分
暖候期予報 : 2 月 2 5 日 (水) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	0.9	57.8	151.8	28	0.2	0.6	1.2
新庄	-0.9	151.4	60.7		-1.6	-1.2	-0.6
若松	-0.3	71.3	103.7	118	-1.1	-0.7	0.0
深浦	-0.2	80.7	52.4	72	-1.0	-0.6	0.1
青森	-1.1	121.3	78.6	225	-1.9	-1.5	-0.7
むつ	-1.5	88.6	98.7		-2.2	-2.0	-1.1
八戸	-0.9	54.4	141.6	60	-1.7	-1.3	-0.5
秋田	0.2	96.7	70.1	87	-0.6	-0.1	0.5
盛岡	-1.6	56.5	138.3	60	-2.5	-2.0	-1.1
宮古	0.3	79.4	162.7	43	-0.4	-0.1	0.6
酒田	1.5	120.2	64.5	65	0.9	1.2	1.8
山形	-0.2	72.0	106.7	97	-0.9	-0.5	0.1
仙台	1.7	48.9	162.0	30	1.0	1.5	2.1
石巻	0.9	44.4	174.6		0.1	0.6	1.3
福島	1.8	51.1	155.6	38	1.0	1.5	2.2
白河	0.5	41.6	165.0		-0.3	0.2	0.9
小名浜	3.7	61.6	186.6	0	3.1	3.4	4.0

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	79～ 110	96～ 104	75～ 119
東北日本海側	-0.3～+0.5	92～ 108	91～ 107	78～ 121
東北太平洋側	-0.4～+0.6	64～ 117	99～ 103	64～ 122

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+0.8	-0.8～+0.9	-0.6～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.8	-0.8～+0.9	-0.6～+0.7
東北太平洋側	-0.5～+0.9	-0.7～+0.9	-0.5～+0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 16 年 1 月 30 日 仙台管区気象台

1．実現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月(1 月 31 日～2 月 29 日)：

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(1 月 31 日～2 月 6 日)：

明後日(2 月 1 日)まで高気圧に覆われ晴れる所が多いですが、2 月 2 日頃気圧の谷の影響で雪や雨が降るでしょう。その後冬型の気圧配置となって、東北日本海側は雪の所が多いでしょう。東北太平洋側の沿岸部は、概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目(2 月 7 日～2 月 13 日)：

冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が少なく、東北太平洋側は晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4 週目(2 月 14 日～2 月 27 日)：

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

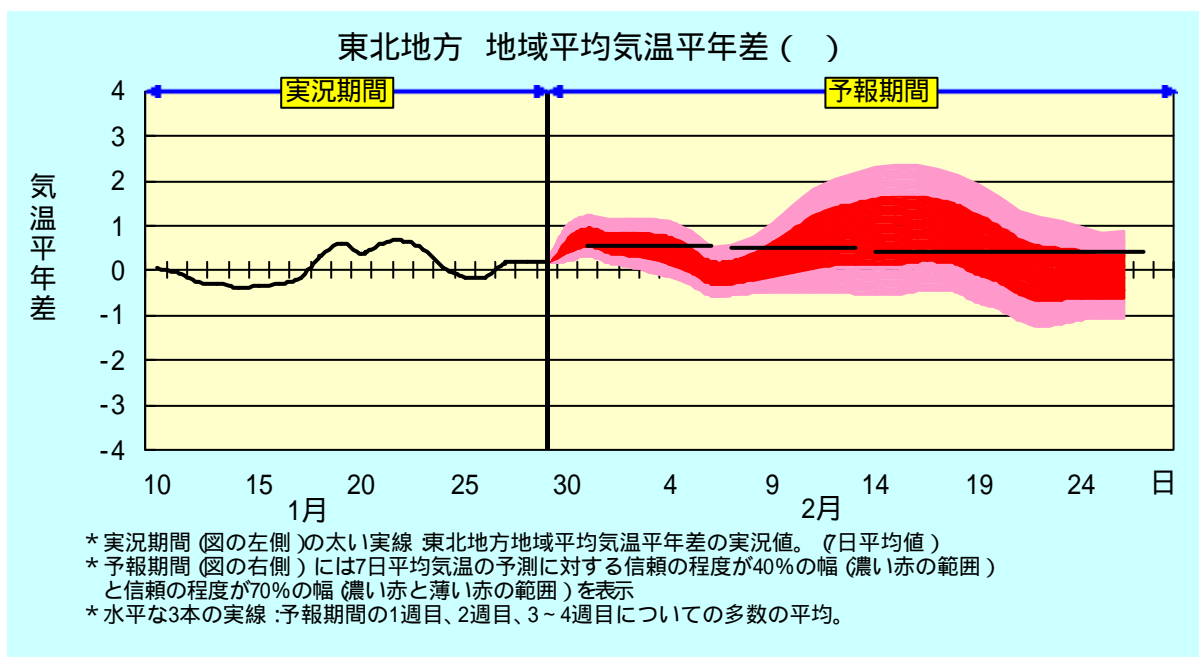
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	6.3 日	1.3 日	1.4 日	3.6 日
東北太平洋側	17.9 日	4.6 日	4.7 日	8.6 日

2．東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から各週共「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

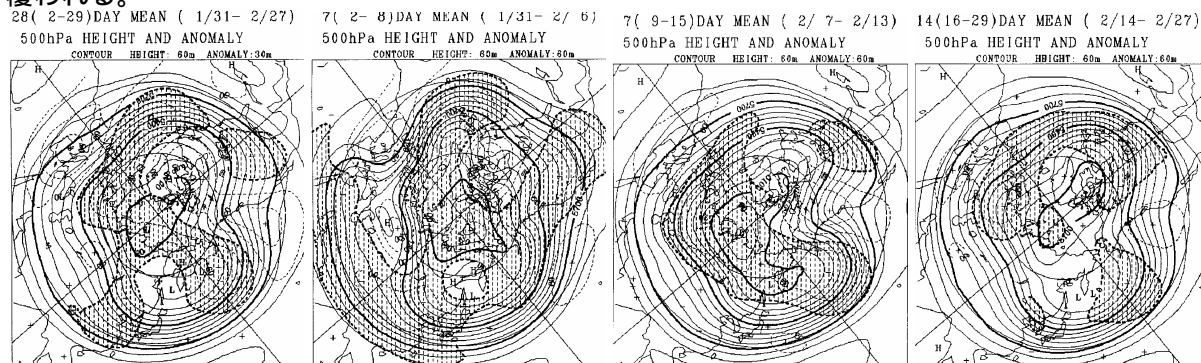


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では極付近に負偏差が広がり、寒気蓄積場となって強い寒気の南下は一時的。大陸から東シナ海や日付変更線付近は負偏差が広がるが、日本付近は正偏差に覆われる。

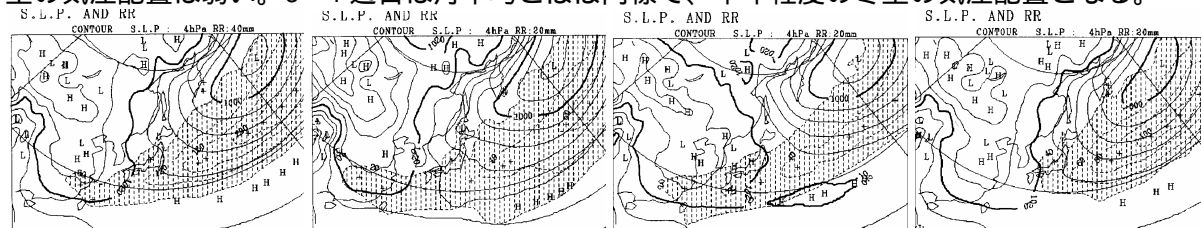
週別に見ると、1週目は大陸の負偏差が日本付近まで広がる。2週目は、日本付近は東西に広く正偏差に覆われる。3～4週目も、朝鮮半島付近は負偏差だが、日本を含む極東域が広く正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、大陸に高気圧、アリューシャン付近に低気圧があって、日本付近は平年程度の冬の気圧配置。降水域は、日本の南海上と日本海側にかかる。

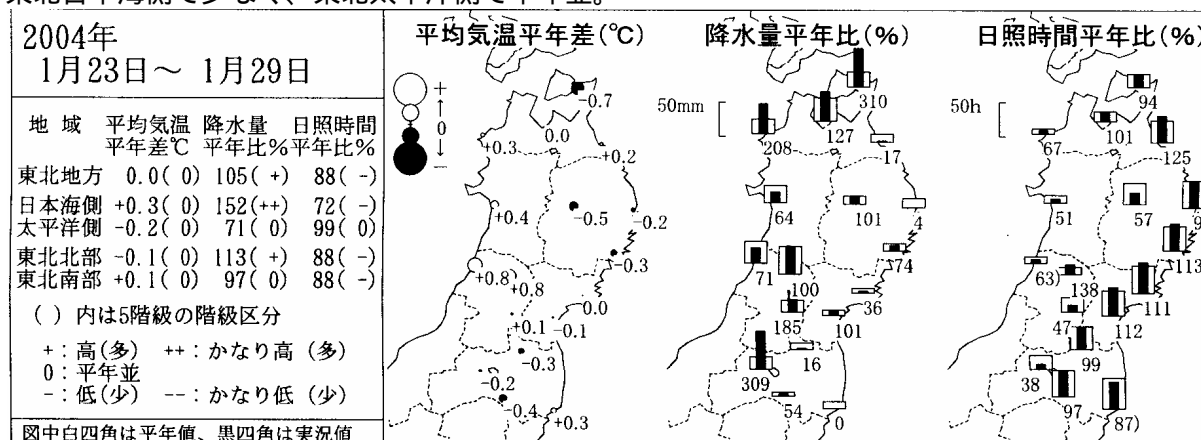
週別に見ると、1週目は冬の気圧配置。2週目は、大陸の高気圧が日本付近まで張り出し、冬の気圧配置は弱い。3～4週目は月平均とほぼ同様で、平年程度の冬の気圧配置となる。



4．最近1週間（1月23日～1月29日）の天候の経過

この期間は冬の気圧配置が続き、東北日本海側は雪となったが、東北太平洋側は概ね晴れた。特に、23日は強い寒気が南下して冬の気圧配置が強まり、東北地方は荒れた天気となった。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)